

片口小学校活動報告

◆活動取組みの紹介

【ありがとうの木】

友達の素敵な言動や友達に「ありがとう」と言いたいことを付箋に書き掲示した。また、自分のよいところ（「自分にありがとう」）も書くようにし、自己を認め他者と認め合う機会とした。

【あいさつ運動】

生活委員会が中心となりあいさつ運動を行った。年度後半では、委員会以外からもボランティアを募って取り組み、挨拶の輪を広げた。

【募金活動】

ボランティア委員会で、ポスターや校内放送で全校児童に協力を呼びかけ、赤い羽根共同募金や書き損じはがきの回収に取り組んだ。

【福祉体験】

5年生は総合的な学習の時間で福祉について学習した。各種体験活動を通して、福祉の理念や実社会における課題について考えた。

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時 （子供の声）

- ・募金の目的や使われ方についてくわしく調べ、みんながボランティアに興味をもってくれるように工夫しました。困っている人のために役に立ちたいという思いを伝えることで、たくさんの方が協力してくれてうれしかったです。
- ・自分たちの呼びかけや行動が、困っている人への助けになることを知りました。
- ・障害をもつ方の苦労や大変さが少し分かりました。自分の知らないことはまだまだたくさんありそうです。もっと学んでいきたいです。

◆最後にひとこと

各委員会や学年が学習したり活動したりしたことを全校に広め、学校全体として意識を高める機会を増やしていきたい。ボランティア委員会では、活動をリードする委員会として、委員の一人一人が理解を深め、活動意欲を高めることをねらって、ボランティアの考え方にに関する学習を取り入れたい。



〈ありがとうの木〉



〈あいさつ運動〉



〈車椅子体験〉



〈点字体験〉